

2019年度「向島まちづくり情報 発信推進事業」の取り組み

令和元年度・向島ニュータウンにおける
地域団体活動ステップアップ

サポート事業

向島まちづくり情報発信グループ

2020年6月

令和元(2019)年度・「向島まちづくり情報発信 推進事業」として取り組んだもの

- ①「向島まつりーむかいじま だいすき」ホームページによる情報発信
- ②フェイスブック「向島まちづくり推進会議」による情報発信
- ③『向島まちづくり通信』による情報発信
- ④タウンマガジン『むかいじま だいすき』第2号の発行
- ⑤FM845によるラジオ放送番組の作成に協力
- ⑥「むかいじま」魅力発信動画の作成に参加

①「向島まつりーむかいじまだいすき」 ホームページについて

「向島まちづくり情報発信グループ」の角野
さんを管理者として、2年目の取り組みを進
めました。

向島ニュータウン各団体の取り組みの
案内と取り組みの記事を各カテゴリーに分
けて発信

※ネットで、「向島まつり」で、
ぜひ検索して下さい。

②フェイスブック「向島まちづくりビジョン推進会議」での情報発信

* 2019年、「フェイスブック勉強会」を開催し、フェイスブック管理者を複数人育成。

* 時々の取り組みをフェイスブックで情報発信しています。

※フェイスブック「向島まちづくりビジョン推進会議」で検索して下さい。ネットでも見ることができます。検索してみてください。

③『向島まちづくり通信』による情報発信

京都市が(株)「アルパック」に委託し3ヶ月に1回、令和元年度も、年間4回発行された『向島まちづくり通信』の1～3頁の記事の取材、編集などを担当し、向島地域の情報を伝え・発信してきました。

向島ニュータウンのみなさんには、自治会などを通じて全戸配布。向島、向島南学区では回覧されています。ホームページ「向島まつりーむかいじまだいすき」には、全て掲載されていますので、ホームページでご覧下さい。



中文版、请在下面的网址: <http://www.city.koto.lg.jp/tokai/paas/0000109046.html>

『むかちゅうセンター』で行われている 『向島ユース(若者)センター』に、多くの中高生が参加

毎週金曜日、午後5時から8時頃まで『むかちゅうセンター(元向島中学校)』で行われている『向島ユース(若者)センター』に、多くの中学生や高校生が参加しています。
『向島ユースセンター』は、『向島ユースセンター実行委員会』と『京都市伏見青少年活動センター』が主催して行っている取組です。

若者が「ぼーっ」とできる場所、 みんなでスポーツができる場所をつくりたい

中学生や高校生など若者が学校の授業を終えた後、自由に集まって、おしゃべりをしたり、「ぼーっ」とできる場所をつくらうと、向島ニュータウンセンター商店会にある「京都文教マイタウン向島(MJ)」で、『向島ユースセンター』の取組がはじまりました。
ところが、会場のスペースが狭く、集まる中学生や高校生の人数は限られていました。

『むかちゅうセンター』に場所を移して、 取組が軌道に乗り始めました！

転機になったのは、『向島ユースセンター』の会場を、『向島秀蓮小中学校』の開校により、昨年2019年3月に開校し、同年8月より地元住民が利用できるようになった『むかちゅうセンター(元向島中学校)』に移したことです。

スポーツをしたい、「ぼーっ」としたいという中学生や高校生ら若者が、毎回20人～30人集まるようになりました。いま、人気なのは、体育館で行うバスケットボールです。

『向島ユースセンター』は、中学生から30歳までの若者なら、向島地域に住んでいなくても、誰でも無料で参加で

き、次のようなことができます。

①体育館では、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球のグラウンドでは、サッカー、キャッチボール、フリスビー②2階交流ルームなどでは、しゃべる、「ぼーっ」とする、自習、相談、みんなで料理をつくるなどです。

『向島ユースセンター』の中高生を取材したラジオ 番組『むかいまダイアリー』が放送されました

2月21日(金)、京都文教大学の学生が、『向島ユースセンター』に参加している中学生や高校生を取材。この取材をもとに、2月24日(月・祝)『京都リビングFM(FM84.5)』のスタジオに、『向島学生センター』のコスタリカ、中国からの留学生、京都文教大学の学生、『向島ユースセンター』のボランティア学

生、伏見青少年活動センターの職員が集まり、ラジオ番組「第2回むかいまダイアリー」の収録が行われ、3月8日(日)お昼の12時から30分間『FM84.5』で放送されました。

『向島ユースセンター』 京都市伏見青少年活動センター
お問い合わせ TEL: 075-611-4910

※新型コロナウイルス感染拡大のため、実施しているかどうか、お問い合わせ下さい。



『向島まちづくり通信』第18号
令和2年3月発行

④タウンマガジン『むかいじま だいすき』2020年SPRING号の発行

タウンマガジン『むかいじま だいすき』第2号を2020年4月、12頁で発行しました。

昨年2019年4月に発行した創刊号が8頁で発行したので、内容がさらに豊かになりました。



タウンマガジン『むかいじま だいすき』
2020年SPRING号・表紙

タウンマガジン『むかいじま だいすき』の紹介ー1

駅前から発信する、住みたくって、笑顔になれるむかいじま。



日曜日の早朝、近鉄「向島」駅東口の一角に、カラフルなのぼりが立ち始めた。やがて手際よくテントが張られ、集まった地元商店主の手で野菜やお惣菜、それに地酒などが次々と並ぶ。そう、今日は「むかいじま すまいるマルシェ」の開催日なのだ。

マルシェを引っ張るのは、地元の商店主・経営者らでつくる運営チーム。この日「味のある減塩食」をテーマにお惣菜の販売を行っていた株式会社健康プラスの大濱恵さんは「向島の中だけで盛り上がりつつもダメ。これからはまちの魅力を外部に発信していくことが不可欠」と語る。開催までに各地のマルシェを視察に訪れ、成功事例から学んだことが奏功し、現在はエリアを越えて足を運ぶ常連客も獲得。昨夏には実験的に夜のマルシェも開催し、大盛況に結びついたそう。

「続けて開催することで色んな可能性が見えてきた。このマルシェを足がかりに、誰も想像しなかったような駅前の賑わいに繋げていきたい。」

一どこまでも地域に根ざした活動をつづけるこのチームの夢が形になり、むかいじまが少しずつ 変わりはじめています。

出店者も募集中!
「むかいじま すまいるマルシェ」

今後も「向島元氣バザール」と同日開催を予定。
お問い合わせは075-632-8013(中嶋農園まで)

むかいじま
いま注目のひと
…
むかいじま すまいるマルシェ
巨匠になることにワシを養育中!
いまむかいじまで一番オシャレで映える?
イベントの作り手に迫りました。

3頁は、地元商店主・経営者のみなさんの運営チーム「むかいじま すまいるマルシェ」の紹介です。

カネ七畠山製茶は、観月橋南詰めを西に折れるとすぐのところにある。創業は1751年、江戸時代より続く宇治茶の製造問屋です。かつて、抹茶の原料となる「てん茶」をつくる覆い下栽培の茶園は、現在「さつき幼稚園」となっている。観月橋から向島間の24号線あたりや観月橋周辺にまで広がっています。

畠山家20代目で社長の畠山友晴さん(46)は、「カネ七畠山製茶」が、大手企業や中国のお茶業界に対抗して生き抜くには本物志向で高級路線の抹茶を製造すること、抹茶カフェなどのプロデュース、抹茶ビジネスコンサルタントとしての役割なども果たすことが必要、という考えから、世界にたった一人しかいない有機栽培手摘み農家と手を組み、現在は高品質な有機抹茶を取り扱っています。

取材に伺った際には1kgの10万円の最高級抹茶「大地の響」を点でていただきました。まるでやかで甘い香りや舌触りに取材チーム一同うっとり。しばらく言葉がなくなるほど、余韻のつづく味わいでした。これは和菓子だけでなく洋菓子にも合いそう!

大手コーヒーチェーンが売り出した「抹茶ラテ」がきっかりとなり、世界中に広がった「抹茶ブーム」はいまなお拡大中。「マッチャー(matcha)」は和製英語として通用するほどになりました。「カネ七畠山製茶」では、販路を広げるために、シヨコラやストロベリー味など9種類のフレーバー抹茶なども開発し、世界29カ国を含め数多くの小売店と直接取り引きを行っているそう。

むかいじまから世界に発信をつづける製茶問屋さん。店頭での購入も可能なので、ぜひ一度足を運んでみて下さい!

(取材・文/神尾正樹)

株式会社 カネ七畠山製茶
京都府伏見区向島橋詰町1786
TEL 0120-7564-35
営業時間 8:00~18:00
定休日 土・日・祝日
www.7noshin.com

〒610-0831 観月橋駅 宇治川

▲店舗にはお入りりのさまざまなフレーバー抹茶も、ぜひチェック!

4頁は、『株式会社カネ七畠山製茶』の紹介です。『カネ七畠山製茶』は1751年の創業です。

タウンマガジン『むかいじま だいすき』の紹介ー2



昨年夏開設した向島秀蓮小中学校に通う、村川和さん。「小中一貫校なので9年生が1年生の掃除を手伝うなど助け合うところが好き」とのこと。秀吉が建てた向島城がある地元を誇り、本冊子に掲載した「武者隠し」も早速見に行ったそうです。村川さんは4街区に暮らすおはあちゃんから伏見の場所・名物を学んだ「伏見くるかるた」をもろって遊ぶうちに伏見が大好きに。かるたに描かれた名所を訪ね歩くうちにすっかり伏見に詳しくなった村川さんは、平成30年「伏見くるかるた大会」の団体戦にて見事優勝を果たしました。

そんな村川さんは平成30年8月から1年間「京都ジュニア観光大使」(以下大使)を務めました。「閉校になる向島南小学校の最後の卒業生として、学校の名前をここに残したいな」と思っ、京の七つや祇園祭等のイベントや京都市美術館の工事現場を体験してレポートを出すなど大使として京都の魅力を伝えました。大使の活動と向島南小学校の閉校事業が重なる日もあり「身体が2つあったらいいな」と日程調整に苦労しつつも、他校に通う7名の大使と打ち解け合って楽しく活動したそう。

中学校では学業はもちろん、生徒会活動や地域活動にも積極的に参加したいと語る村川さんは将来「小学校の先生になりたい」と語ります。ぜひ、向島秀蓮小中学校で教壇に立つ日が来ますように。

取材・文 亀村佳恵

◆門田氏からの感謝状を手に、お礼状を。

5頁では、平成30年8月から1年間、「京都ジュニア観光大使」を務めた、村川和さんを紹介しています。



「むかいじま 元気なお店紹介 「リタcoffee」 Rita Coffee」

ドリップで1杯ずつ抽出するまろやかなさは、隣へつむぐ。店内では、お茶畑から採れたドリップで淹れる。

心の底から、ああ、久しぶりだ、と言える一杯に出会えた。それもわが町、むかいじまの中。 「リタCoffee」は、向島ニュータウンから北へ少し歩いたところにある、小さなお店。必ず開いているのは日曜と月曜のみ。あとは「気まぐれでやってます。」と店主、限られたスペースながら、この一杯を求めて訪れる客が後を絶たない。 コーヒー豆の生産国は数あれど、こちらのお店が使うのはグアテマラ産のみ。仕事を通し、多くの豆と向き合ってきた中で得たただひとつの結論が、このグアテマラ産だという。仕入れた生豆を更にひと粒ずつ選別し、独自の工程を経て焙煎にかけられる。そうして

ドリップされたコーヒーはいつまでも忘れられない芳醇な香りを放つ。ただそれだけのコーヒーだけではなく、地元農家の野菜をふんだんに使ったパスタ、季節を感じるスイーツも。常に主役となるコーヒーとの相性を考えたオリジナルメニューを考える時間も、店主にとっては大きな楽しみのひとつなのだと感じた。

そんな店主、横山亮太さんは本紙タイトルと同じく、むかいじまが大好き、と言い切る。「人の温かさに癒やされますね。だから僕も自分のコーヒーで、少しでも癒しの時間を提供できれば」。 営業日は限られているが、様々なイベントに出店中なので、運良く会場でこの一杯に出会えるかも。最新の店舗情報は、ぜひ公式サイトをチェックしてみてください。

リタCoffee 京都市伏見区向島 中島町112-6 TEL 075-622-1608 営業時間 11:00~18:00 営業日 日・月曜 火~土曜は気まぐれ https://office.rita.com/ 予約電話 075-622-1608

リタCoffee・店主 横山亮太さん

6頁では、向島中島町の小さなカフェ「リタcoffee」と、マスターの横山亮太さんを紹介しています。

タウンマガジン『むかいじ まだいすき』の紹介ー3

**もう行った？もう使った？
みんなのコミュニティスペース
むかちゅうセンター**
Community Space Mukachuu Center

「むかちゅうセンター」を使ってみたい！という方は…
まずは「利用希望書」にご記入ください。ご希望のスケジュールに空きがあり、利用可能になった時点で所定の連絡をさせていただきます。
日時：毎月第2火曜日 18時30分～19時30分 場所：1階交流ルーム

まなび
小学生の勉強会
17時～18時
1階交流ルーム

コミュニティ
向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時
向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時
向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時

スポーツ
向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時
向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時
向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時

ホビー
向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時
向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時
向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時

カフェ
向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時
向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時
向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時

8～9頁は、みんなのコミュニティスペース「むかちゅうセンター」について紹介しています。

向島秀蓮小中中学校が昨年2019年4月に開校したことに伴い、閉校となった向島中学校が、昨年8月より、地域住民が管理、色々な取り組みが繰り広げられています。「コミュニティ」「スポーツ」「ホビー」「まなび」に分けて、取り組みを紹介しています。

向島の善阿弥町
由来を知らねば困る！
向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時
向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時
向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時

向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時
向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時
向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時

向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時
向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時
向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時

向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時
向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時
向島ユースセンター（少年の居場所づくり）
毎月第1、3、5日曜日 17時～18時

10頁は、京都文教大学専任講師の小林大祐先生の「向島の歴史コラム」です。

今回、向島「善阿弥町」の名前の由来について書いていただきました。

タウンマガジン『むかいじまだいすき』の紹介ー4

「何かいいものある方」
困りごと、ご相談ください

社会福祉法人イエス団
京都府南郡障がい者地域生活支援センター
「あいりん」
〒612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町 151-34
TEL:075-604-6159 FAX:075-604-6155
Mailto: airin@athena.ocn.ne.jp

育児学、随時受付しております！
「一人ひとりを大切に」

社会福祉法人イエス団 野の百合保育園
〒612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町 151-34
TEL:075-622-8545
https://monoyuri.jesusband.jp

スタッフ募集中！
一緒に楽しい愛職観をついていきませんか？

社会福祉法人イエス団
愛隣ワーカーズセンター
重慶心身障がい者通所「リナム」
障がい児・者ホームヘルプ事業「やうらん」
〒612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町 151-34
TEL:075-621-3849 FAX:075-621-1579
Mailto: info@ianshikanet

「一人ひとりを大切に」

安心できる環境づくり
豊かな感性
自己肯定感を育む

社会福祉法人イエス団
児童発達支援センター 空の鳥幼稚園
〒612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町 151-34
TEL:075-622-8546
https://saronetorijesusband.jp

向島なら 送料無料で
特別価格 5kg 配達承り中

伏見向島産 特別栽培米
090-6552-3067
miyamotofarm.kyoto@gmail.com

アイビ建築

自家焙煎の深煎りにこだわった
珈琲は癒しの香り

リタ coffee
京都府伏見区向島二ノ丸町 112-6
TEL:075-622-1068
web / http://elberta.com/
営業時間: 11:00am-18:00pm
営業日: 月・日・火・水・木・金・土・日・祭日
豆の量り売りも承ります。詳しくは HP へ！

今日食べたあの野菜、
きっとココのだ。

中嶋農園

〒612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町 151-34
TEL:075-632-8013

商店オリジナル「紙製小町」好評販売中！

向島米穀店

米 餅 おはき

定休日：日曜日、祝日
住所：京都市伏見区向島二ノ丸町 151-34 向島米穀店 2F
お米の配達承ります ☎0120-30-4412

不動産売買 仲介 賃貸

向島で40年の実績 オクダ商事

代表者 奥田 直徳
〒612-8132 京都市伏見区向島森ノ木町 24 番地 1
TEL:075-622-0527 FAX:075-621-4432

学校法人 京都城南学園
向島幼稚園

〒612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町 151-34
TEL:075-622-9650 FAX:075-622-9649

京都南法律事務所

お気軽にご相談ください。

弁護士 井筒 佳浩 弁護士 中 廣 誠
弁護士 杉山 潔史 弁護士 吉田 眞佐子
〒612-8054 京都市伏見区御所野原617-1 山崎ビル6F 4号
山崎ビル御所野原 伏見区御所野原 617-1 東幸 3-5
TEL (075) 604-2133 http://minami-ko.jp/
法律相談：初回30分無料！ご予約のうえ事務所にお越しください！

Kyoto Bunkyo University 京都文教大学
Kyoto Bunkyo Junior College 京都文教短期大学

ササニキョウケンバウ等の御用い合わせは下までご連絡ください。
京都文教大学・短期大学 社会連携部 メールアドレス：sof@bunyo.ac.jp
〒611-0041 京都市伏見区向島二ノ丸町 151-34 TEL:075-622-2911 FAX:075-601-2095
https://mukaijimafesta.jimdo.com

向島駅前くわはらクリニック

診療科目	受付時間	月	火	水	木	金	土
内科	8:30-11:30	●	●	●	●	●	●
アレルギー科	8:30-11:30	●	●	●	●	●	●
リウマチ科	17:00-18:30	●	●	●	●	●	●

京都市伏見区向島二ノ丸町 151-43 TEL:075-622-2911 FAX:075-601-2095
※予約受付 二つ折りは電話・HP から kuwahara-clinic.com

近鉄「向島」駅下車・東口出てすぐ
中部産婦人科医院

産科・婦人科
無痛分娩

大切なあなたへ

院長 中川建 副院長 中部裕子
〒612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町 151-34 ☎075-622-7470 www.nakabe.or.jp

Natural Feminine Vintage Japanese Modern

トータルコーディネート × お求めやすさで
住まいの「楽しさ」「豊かさ」を提案いたします。

伏見向島店
営業時間 10:00~21:00
定休日 日曜日・祝日・お盆・お正月
〒612-8135 京都市伏見区向島二ノ丸町 151-34
向島駅前 徒歩 5 分

7頁、11頁と最終頁(12頁)は、広告の頁です。経費の半分は京都市支援事業の助成がありますが、残る半分は事業活動で調達する必要がありました。向島内外の事業者のみなさんからの暖かい広告による支援・ご協力をいただきました。ありがとうございました！

『むかいじま だいすき』2020年SPRING号は「無料」です。伏見区役所、伏見中央図書館、向島図書館、事業所などに置いています。

⑤FM845ラジオ番組の作成に協力

京都文教大学の学生と、向島学生センターの留学生のコラボによる「京都リビングFM(FM845)」でのラジオ放送番組「むかいじまダイアリー」の企画に、「向島まちづくり情報発信グループ」も協力しました。

第1回は、2019年10月17日(木)お昼の12時30分～1時まで「向島まつり」をテーマに放送。

第2回は、2020年3月8日(日)お昼の12時～12時30分、「向島の子どもたち」をテーマに放送されました。



2020年3月8日(日)放送「第2回むかいじまダイアリー」の収録は、2月24日「京都リビングFM」のスタジオで行われました。

⑥「むかいじま魅力発信動画」の作成に参加

「むかいじま魅力発信動画」の作成を、京都市から委託された(株)「アルパック」の動画作成に、専門スタッフとともに、「向島まちづくり情報発信グループ」も参加しました。

「動画」プロジェクトの「智恵だし会議」などにも参加し、場面の録画収録にも協力しました。

完成された「動画」は、6月下旬から京都市のホームページでも公開されます。

以上